

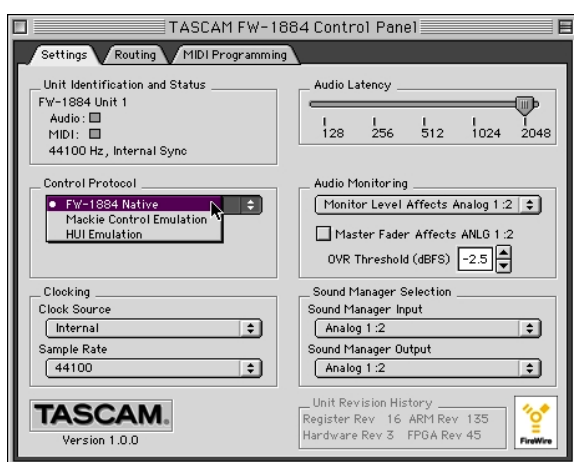
Digital Performer (Mac)

FW-1884 CD-ROMに収録されているDigital Performer用プラグインをインストールすることにより、Mark of the Unicorn社のDigital PerformerをFW-1884 Nativeモードでコントロールすることができます。

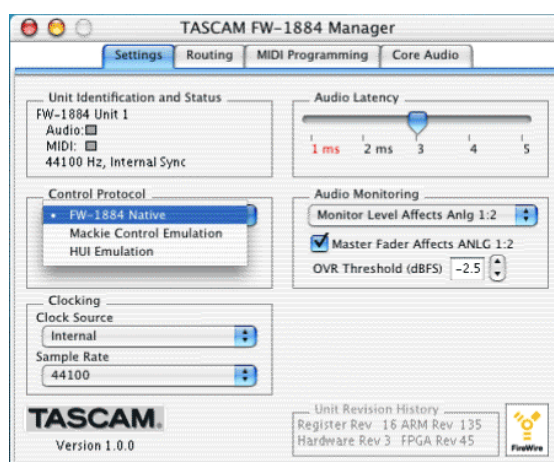
FW-1884 CD-ROM には、Digital Performer 2.7, 3.1, 4.0 用のプラグインインストーラーが収録されていますので、ご使用のバージョンに合わせてお使いください。

FW-1884 コントロールパネルの設定

- 1 FW-1884 Control Panel (Mac OS 9) あるいは FW-1884 Manager (Mac OS X) を開きます。
- 2 「Settings」タブを選択します。
- 3 「Control Protocol」プルダウンメニューから、「FW-1884 Native」モードを選択します。



FW-1884 Control Panel (Mac OS 9)



FW-1884 Manager (Mac OS X)

プラグインのインストール

Mac OS 9

FW-1884 CD-ROMの「DP Plugin」フォルダ内にある、「FW1884_DP27_1_00 Installer」(Digital Performer 2.7用)または、「FW1884_DP31_1_00 Installer」(Digital Performer 3.11用)をダブルクリックします。

インストーラーに従ってインストールを進めると、プラグインをどのプラグインフォルダにインストールするかを指定するダイアログが表示されます。「Digital Performer x.x Folder」内の「Plug-ins」フォルダにインストールしてください。

Mac OS X

FW-1884 CD-ROMの「DP Plugin」フォルダ内にある、「FW-1884 1.00.dmg」(Digital Performer 4.01用)をダブルクリックします。

インストーラーに従ってインストールを進めてください。

Digital Performer (Mac)

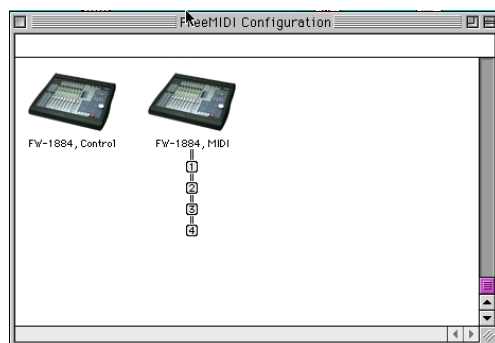
FreeMIDI ドライバーのインストール (Mac OS 9 のみ)

1. FW-1884のドライバーをインストールしてください。
2. FreeMIDIがインストールされていることを確認してください。
3. 「FW-1884 FreeMIDI Driver」 (FW-1884のドライバーをインストールする時に作られる「FW-1884 Drivers」の中に入っています) を、システムフォルダ内の「FreeMIDI Folder」にインストール (移動またはコピー) してください。

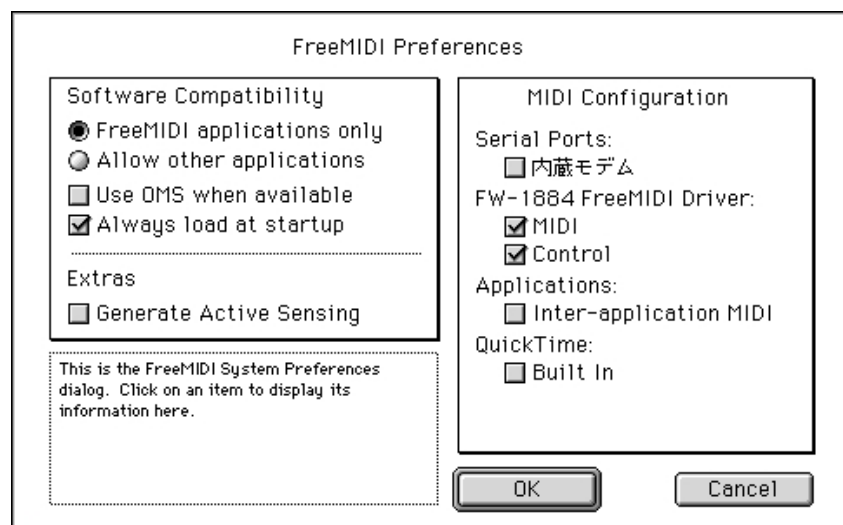
ご注意: これらのドライバーを「FreeMIDI Applications」フォルダに入れしないでください。正しく動作しません。

FreeMIDI ドライバーの設定 (Mac OS 9 のみ)

1. FreeMIDI Setupアプリケーションを起動してください。
2. 以下のような「FreeMIDI Configuration」ウィンドウが開くことを確認してください。



もしFreeMIDI ConfigurationウィンドウにFW-1884が出てこない場合は、FreeMIDI Setupアプリケーションにおいて、「File」プルダウンメニューから「FreeMIDI Preference...」を選択し、MIDI Configurationの「FW-1884 FreeMIDI Driver:」の「MIDI」と「Control」にチェックがされていることを確認してください。



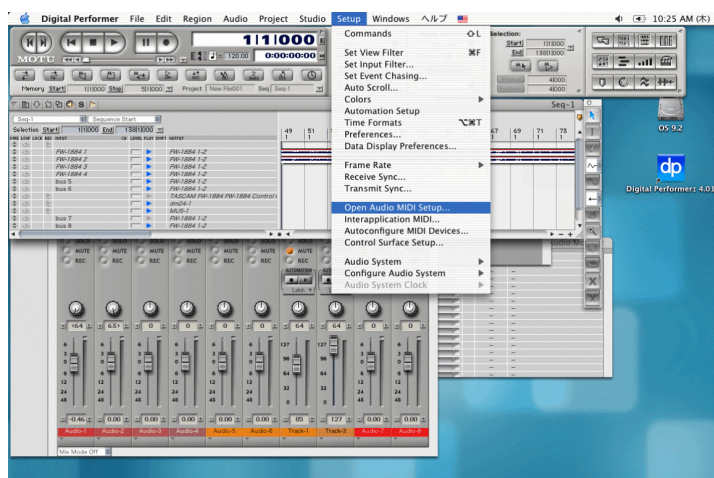
Digital Performer (Mac)

ASIO ドライバーのインストール (Mac OS 9 のみ)

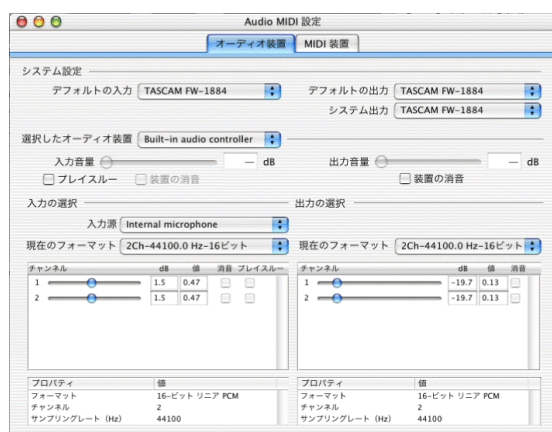
1. FW-1884のドライバーをインストールしてください。
2. 「FW-1884 ASIO Driver」 (FW-1884のドライバーをインストールする時に作られる「FW-1884 Drivers」の中に入っています。) を、Digital Performerフォルダ内の「ASIO Drivers」フォルダにインストール (移動またはコピー) してください。

AUDIO MIDI の設定 (Mac OS X)

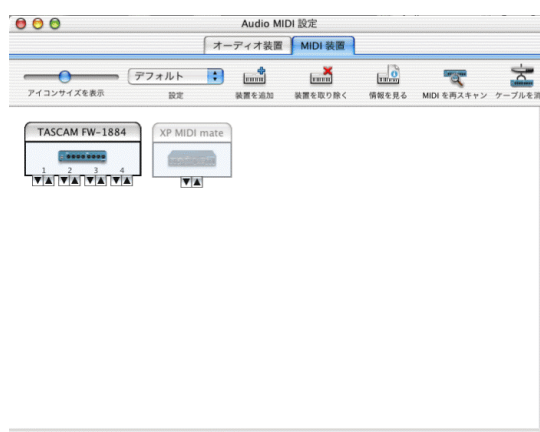
1. Digital Performerを立ち上げて、プロジェクトを作成または開きます。
2. 「Setup」 (DP4) プルダウンメニューから、「Open Audio MIDI Setup...」メニューを選択します。



3. 「オーディオ装置」タブを開いて「システム設定」エリアの入出力装置としてFW-1884が選択されていることを確認してください。
4. 「MIDI装置」タブを開いて、TASCAM FW-1884のオブジェクトがあることを確認してください。また、FW-1884にMIDI機器が接続されている場合、この画面で接続設定を行ってください。



AUDIO MIDI設定 - オーディオ

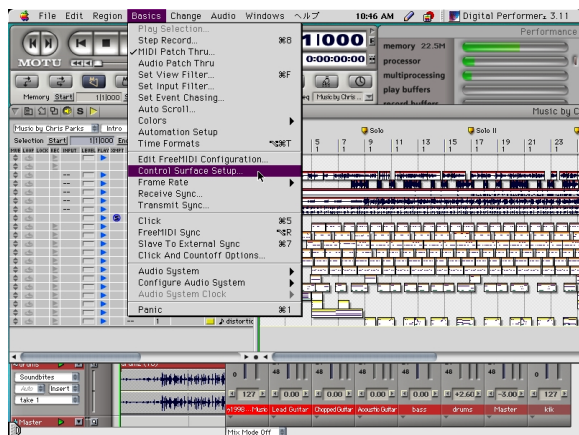


AUDIO MIDI設定 - MIDI

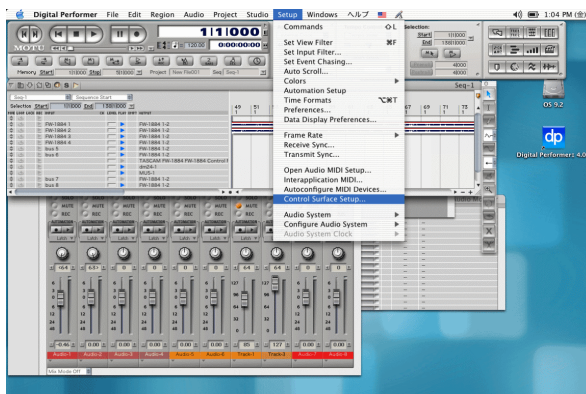
Digital Performer (Mac)

Digital Performer の設定

1. Digital Performerを立ち上げて、プロジェクトを作成または開きます。
2. 「Basics」(DP3) または「Setup」(DP4) プルダウンメニューから、「Control Surface Setup...」メニューを選択します。

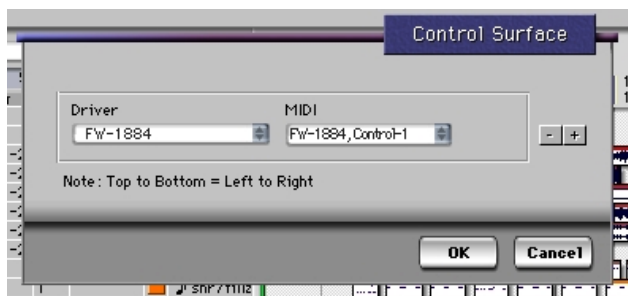


Digital Performer 3.11 (Mac OS 9)

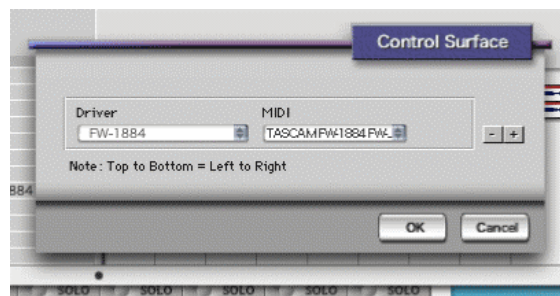


Digital Performer 4.01 (Mac OS X)

4. Driver に「FW-1884」、MIDI に「FW-1884, Control-1」を選択します。

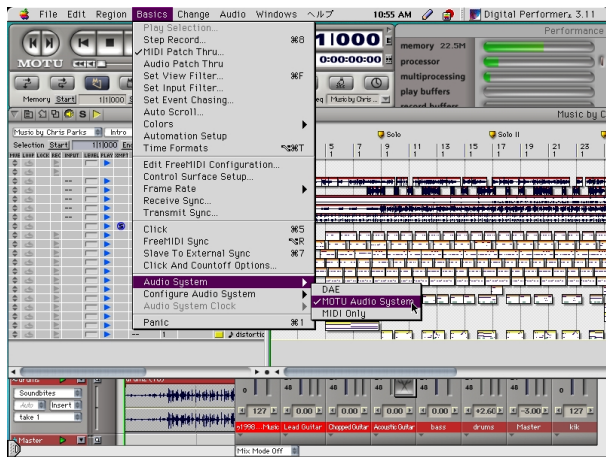


Digital Performer 3.11 (Mac OS 9)



Digital Performer 4.01 (Mac OS X)

5. 「Basics」(DP3) または「Setup」(DP4) プルダウンメニューから、「Audio System/MOTU Audio System」メニューを選択します。(チェックマークをつけます。)



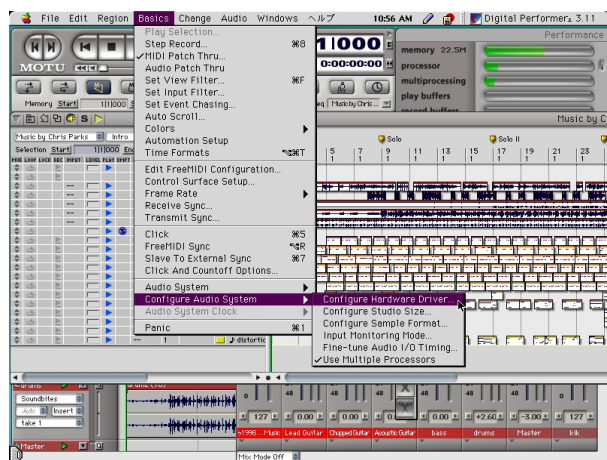
Digital Performer 3.11 (Mac OS 9)



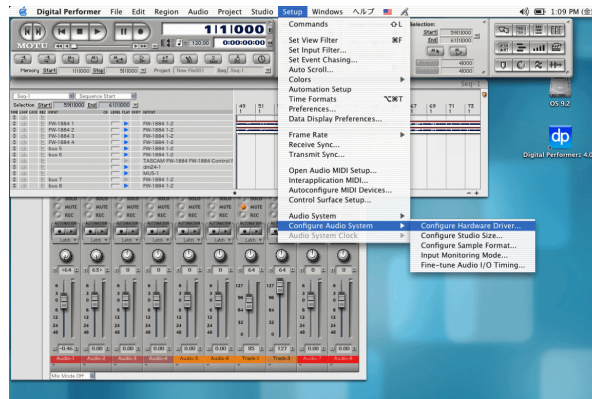
Digital Performer 4.01 (Mac OS X)

Digital Performer (Mac)

6. 「Basics」(DP3) または「Setup」(DP4) プルダウンメニューから「Configure Audio System/Configure Hardware Driver...」を選択します。

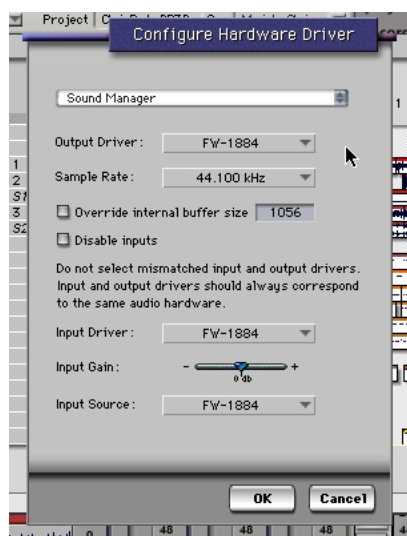


Digital Performer 3.11 (Mac OS 9)

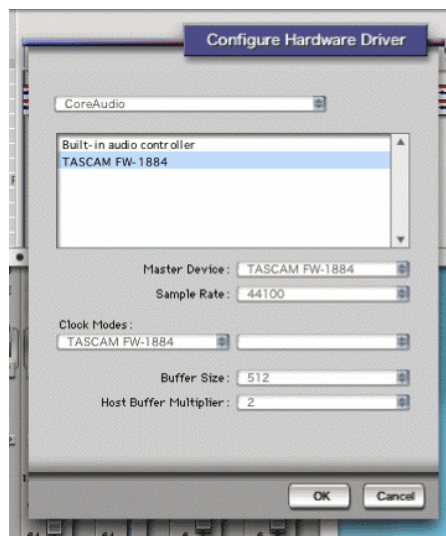


Digital Performer 4.01 (Mac OS X)

7. Digital Performer 3.11 (Mac OS 9)の場合、「Output Driver」に「FW-1884」を選択します。
「Input Driver」および「Input Source」も自動的に FW-1884 に変わります。
Digital Performer 4.01 (Mac OS X)の場合、スクロールウィンドウ内で「TASCAM FW-1884」を選択し、一番上のプルダウンメニューで「CoreAudio」を選択してください。



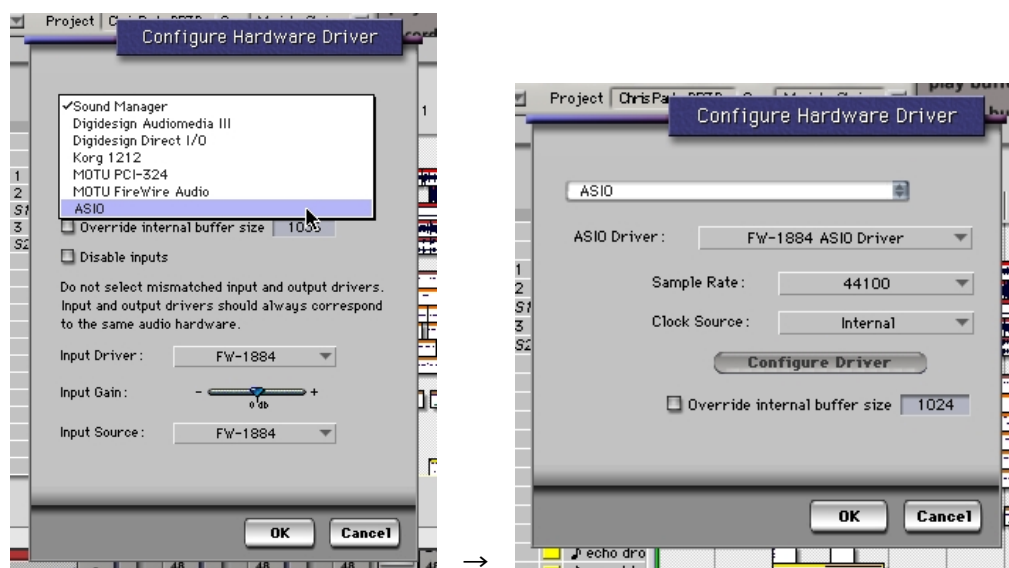
Digital Performer 3.11 (Mac OS 9)



Digital Performer 4.01 (Mac OS X)

Digital Performer (Mac)

8. Digital Performer 3.11 (Mac OS 9)の場合、一番上のプルダウンメニューで「ASIO」を選択します。



Digital Performer 3.11 (Mac OS 9)

これで、FW-1884 のオーディオ入出力、MIDI 入出力を使って、Digital Performer の入出力を、FW-1884 のコントロールパネルを使って、Digital Performer のコントロールを行う準備ができました。レコーディングや、再生に関する Digital Performer の各種設定に関しては、Digital Performer の取扱説明書をご参照ください。

Digital Performer (Mac)

FW-1884 上での Digital Performer の各機能のアサイン

●トランスポートコントロール

PLAY	再生を行います。
SHIFT+ PLAY	オーディブルモードのオン/オフを行います。
STOP	停止します。停止中に STOP キーを押すと、プロジェクトの先頭に戻ります。
REW	巻き戻し再生を行います。
F FWD	早送り再生を行います。
SHIFT+REW/F FWD	遅い速度で後ろ方向/前方向に再生を行います。
REC	録音を開始、または録音を解除（パンチアウト）します。
FOOT SWITCH	フットスイッチでも録音の開始/解除ができます。
<< LOCATE	一つ前のマーカーにロケートします。
LOCATE >>	次のマーカーにロケートします。
SET+LOCATE<</>>	新しいマーカーポイントを作成します。
SCRUB	SHTL キーが消灯しているときデータダイアルを回すとスクラブします。
SHUTTLE	SHTL キーが点灯しているときデータダイアルを回すとシャトル動作します。
SET+IN	パンチインポイントを設定します。
SET+OUT	パンチアウトポイントを設定します。
SHIFT+IN	パンチイン/アウトモードをオン/オフします。
SHIFT+OUT	ループ再生モードをオン/オフします。
SHIFT+SET+IN	ループ再生の開始ポイントを設定します。
SHIFT+SET+OUT	ループ再生の終了ポイントを設定します。
NUDGE</>	選択されたオーディオを、「Set Nudge Amount」で設定された時間単位で移動します。

●ENCODER セクションキー

FLIP	各チャンネルのフェーダーとエンコーダーを入れ替えます。
PAN	各チャンネルのエンコーダーでパンポットのコントロールを行います。
AUX 1	各チャンネルのエンコーダーで SEND 1 のレベルを調整します。
AUX 2	各チャンネルのエンコーダーで SEND 2 のレベルを調整します。
AUX 3	各チャンネルのエンコーダーで SEND 3 のレベルを調整します。
AUX 4	各チャンネルのエンコーダーで SEND 4 のレベルを調整します。
AUX 5	ダイアログで「キャンセル」を行います。
AUX 6	ウィンドウをスクロールアップ（page up）します。
AUX 7	キーボードの「return」キーと同じ操作を行います。
AUX 8	ウィンドウをスクロールダウン（page down）します。
AUX 1+MUTE	該当するチャンネルの SEND 1 をミュートします。
AUX 2+MUTE	該当するチャンネルの SEND 2 をミュートします。
AUX 3+MUTE	該当するチャンネルの SEND 3 をミュートします。
AUX 4+MUTE	該当するチャンネルの SEND 4 をミュートします。

Digital Performer (Mac)

●SHORTCUTセクションキー

CONTROL PANEL	FW-1884 コントロールパネル表示します。
SAVE/F1	ロード中のソングを保存します。1 回押すと点滅し、もう一回押すと保存します。 ソングを編集すると FW-1884 上の SAVE キーが点灯します。
REVERT/F2	未使用
ALL SAFE/F3	全てのレコードファンクションをオフにします。
CLR SOLO/F4	全てのチャンネルのソロをオフにします。
SHIFT+CLR SOLO	全てのチャンネルのミュートをオフにします。
MARKER/F5	現在の位置をマーカーポイントとして登録します。
LOOP/F6	ループモードのオン/オフを行います。
CUT	選択範囲をカットし、クリップボードにコピーします。
DEL	選択範囲を削除します。
COPY	選択範囲をクリップボードにコピーします。
PASTE	クリップボードのデータをペーストします。
ALT/CMD	他のキーと一緒に使います。
UNDO	アンドゥします。リドゥが可能な場合はキーが点灯します。
SHIFT + UNDO	リドゥします。
SHIFT	他のキーと一緒に使います。
CTRL	他のキーと一緒に使います。

●チャンネルセクション

エンコーダー	該当するチャンネルの PAN またはセンドレベルを調整します。
SHIFT+エンコーダー	該当するチャンネルの PAN またはセンドレベルを微調整します。
CTRL+エンコーダー	該当するチャンネルの PAN またはセンドレベルを規定レベルにします。
SEL	チャンネルを選択します。
SHIFT+SEL	チャンネルレベル（フェーダー）を規定レベルにします。
REC+SEL	該当するチャンネルのレコードファンクションをオン/オフします。
READ+SEL	該当するチャンネルのオートメーションモードをリードモードにするかオートメーションモードをオフにします。
WRT+SEL	該当するチャンネルのオートメーションモードをライトモードにします。
SHIFT+WRT	全てのチャンネルをリードモードにします。
TCH+SEL	オートメーションがライトモード時、タッチモードにするかトリムタッチモードにするかを設定します。
LATCH+SEL	オートメーションがライトモード時、ラッチモードにするかタイムラッチモードにするか、オーバーライトモードにするかを設定します。
SOLO	該当するチャンネルのソロをオン/オフします。
MUTE	該当するチャンネルのミュートをオン/オフします。
AUX 1-4+MUTE	該当するチャンネルのセンド 1-4 をミュートします。
フェーダー	該当するチャンネルレベルを調整します。
マスターフェーダー	マスターレベルを調整します。
SHIFT+REC (EQ)	SHIFT キーと EQ セクションの REC キーを押すと、全てのレコードファンクションをオフにします。（ALL SAFE キーと同じ）

Digital Performer (Mac)

●EQコントロール

FW-1884 の EQ セクションで Digital Performer の EQ をコントロールする場合、インサート A スロットに 4 バンド EQ をインサートしてください。

次にコントロールしたいチャンネルの SEL キーを押してください。

HIGH	HIGH バンドの選択および、HIGH バンドの EQ のタイプを選択します。
HI-MID	HI-MID バンドの選択および、HI-MID バンドの EQ のタイプを選択します。
LOW-MID	LOW-MID バンドの選択および、LOW-MID バンドの EQ のタイプを選択します。
LOW	LOW バンドの選択および、LOW バンドの EQ のタイプを選択します。
CTRL+エンコーダー	該当するチャンネルの PAN またはセンドレベルを規定レベルにします。
GAIN	選択されている EQ バンドのゲインを調整します。
FREQ	選択されている EQ バンドの周波数を調整します。
Q	選択されている EQ バンドの Q を調整します。

●ファンクションキー

F7 から F10 キーはインサートスロット B から E の選択を行います。

各チャンネルのインサートスロット B から E にエフェクトがインサートされているとき、SEL キーを押したのち、F7 から F10 のキーを押すことにより、各エフェクトのパラメーターをコントロールすることができます。

F7	インサートスロット B を選択します。
F8	インサートスロット C を選択します。
F9	インサートスロット D を選択します。
F10	インサートスロット E を選択します。
データダイアル	各エフェクトのパラメーターをコントロールします。
SHTL	次のパラメーターを選択します。
SHIFT+CTRL+LATCH	現在設定を行ってエフェクトのバイパスのオン/オフを行います。

SHIFT キーと組み合わせて使用することにより、Digital Performer の画面を切り替えることができます。

SHIFT+F7	トラックウィンドウを開きます。
SHIFT+F8	ミキサーウィンドウを開きます。
SHIFT+F9	エフェクトウィンドウを開きます。
SHIFT+F10	コントロールウィンドウを開きます。
SHIFT+READ	オーディオエディットウィンドウを開きます。
SHIFT+WRT	オーディオモニターウィンドウを開きます。
SHIFT+TCH	一番手前のウィンドウを後ろにします。
SHIFT+LATCH	一番手前のウィンドウを閉じます。

Digital Performer (Mac)

●チャンネルバンクセレクト

FW-1884 は Digital Performer のミキシング機能を 8 チャンネル単位でコントロールすることができます。8 チャンネルを超えるプロジェクトの場合、FW-1884 上の BANK キーを使って、別のチャンネルバンクに切り替えることにより、ミキシングをスムーズに行うことができます。

SHIFT+BANK </> 1 チャンネル単位でコントロールするミキサーチャンネルをずらしします。
BANK </> 8 チャンネル単位でチャンネルバンクを切り替えます。

現在、どのバンクにいるのかを BANK キーの上の 4 つの LED で以下のように表示します。

○●●●●	BANK 1 : 1-8
●○●●●	BANK 2 : 9-16
●●○●●	BANK 3 : 17-24
●●●○●	BANK 4 : 25-32
●○○○●	BANK 5 : 33-40
○●○○○	BANK 6 : 41-48
○○●○○	BANK 7 : 49-56
○○○●●	BANK 8 : 57-64
●●●●●	その他
(○ : 点灯 ● : 消灯)	

また、以下の操作で、上記バンクに直接アクセスすることも出来ます。

CTRL+F7	BANK 1 : 1-8
CTRL+F8	BANK 2 : 9-16
CTRL+F9	BANK 3 : 17-24
CTRL+F10	BANK 4 : 25-32
CTRL+READ	BANK 5 : 33-40
CTRL+WRT	BANK 6 : 41-48
CTRL+TCH	BANK 7 : 49-56
CTRL+LATCH	BANK 8 : 57-64

●Digital Performer 上のミキサーチャンネルの表示

FW-1884 側から Digital Performer 上に表示するミキサーチャンネルの数を設定することができます。Digital performer では、FW-1884 でバンクセレクトを行うと、それに連動して画面も切り替わります。この設定機能を上記バンクセレクト機能と合わせて使うと、非常に効果的にミキシング作業を進めることができます。

CTRL+BANK </> 8 チャンネル単位で増減します。
SHIFT+CTRL+BANK </> 1 チャンネル単位で増減します。

Digital Performer (Mac)

●マスターバンクセレクト

Digital Performer 上で作成されたマスターモジュールが複数ある場合、以下の操作で FW-1884 のマスターフェーダーでコントロールするマスターモジュールを選択することができます。

ALT/CMD+BANK </> マスターモジュール選択

現在、どのマスターモジュールをコントロールしているかを、ALT/CMD キーを押したときに、BANK キーの上の 4 つの LED で以下のように表示します。

○●●●	MASTER 1
●○●●	MASTER 2
●●○●	MASTER 3
●●●○	MASTER 4
●○○○	MASTER 5
○●○○	MASTER 6
○○●○	MASTER 7
○○○●	MASTER 8
●●●●	その他
(○ : 点灯 ● : 消灯)	

●カーソルキー

カーソルキーはキーボード上のカーソルキーと同じ動作をします。